

参考資料

## 平成24年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
教 育 局

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総 額

### 【一般会計】

区分	平成24年度	平成23年度	伸び率
予算総額	484,893,154千円	489,529,192千円	△0.9%
一般会計構成比	28.9%	29.0%	—

### 【埼玉県高等学校等奨学金事業特別会計】

予算総額	804,983千円	801,402千円	0.4%
------	-----------	-----------	------

## II 主な新規事業および重要施策

(単位 千円)

### 1 確かな学力と自立する力の育成

#### (1) 「教育に関する3つの達成目標」の推進

P 1	教育に関する3つの達成目標総合推進事業 【義務教育指導課】	7,957
-----	----------------------------------	-------

#### (2) 確かな学力の育成

P 2	新規 小中一貫教育推進事業【義務教育指導課】	8,453
P 3	学習状況調査実施事業【義務教育指導課】	35,522
	低学年からはじめる学びの土台づくり推進事業 【義務教育指導課】	920
	土曜日の活用事業【義務教育指導課】	1,631
	埼玉県中学生思考力チャレンジ事業【義務教育指導課】	2,832
	学校教育に係る市町村総合助成事業【義務教育指導課】	305,442
	市町村立小中学校非常勤講師等配置事業 【小中学校人事課】	753,948
P 4	新規 未来を拓く「学び」推進事業【高校教育指導課】	3,585
	進学力グレードアップ推進事業【高校教育指導課】	5,496
	ラーニング・サポート推進事業【高校教育指導課】	24,411
	県立高校教育活動総合支援事業【高校教育指導課】	42,196

#### (3) 伝統と文化を尊重し国際性をはぐくむ教育の推進

	埼玉県中学生思考力チャレンジ事業【義務教育指導課】	2,832 (再掲)
	新規 未来を拓く「学び」推進事業【高校教育指導課】	3,585 (再掲)
P 5	世界を目指す「志」育成事業【高校教育指導課】	32,452
	グローバル・ハイスクール・プロジェクト推進事業 【高校教育指導課】	25,609
	新規 海外教育支援事業【高校教育指導課】	12,462
	語学指導等を行う外国青年招致事業【高校教育指導課】	379,165

#### (4) 時代の進展に対応する教育の推進

	小学校理科支援員等配置事業【義務教育指導課】	24,908
	ICT活用教育総合推進事業【高校教育指導課】	31,857

### (5) キャリア教育・職業教育の推進

	小中学校キャリア教育総合推進事業【義務教育指導課】	3,690
	実践的職業教育推進プロジェクト【高校教育指導課】	17,427
P 6	就職指導・キャリア教育支援事業【高校教育指導課】	20,280
	県立高校教育活動総合支援事業【高校教育指導課】	42,196 (再掲)
	高校生体験活動総合推進事業【高校教育指導課】	8,414

### (6) 幼児教育の推進

	幼少期教育充実事業【家庭地域連携課】	3,512
P 7	家庭教育支援推進事業【家庭地域連携課】	7,081
	市町村立小中学校非常勤講師等配置事業 (小1問題への対応) 【小中学校人事課】	174,086

### (7) 特別支援教育の推進

P 8	特別支援教育体制整備事業【特別支援教育課】	23,024
P 9	県立特別支援学校教室不足対策事業【特別支援教育課】	3,231,969
P 10	特別支援学校就労支援総合推進事業【特別支援教育課】	6,446

## 2 豊かな心と健やかな体の育成

### (1) 「埼玉の子ども70万人体験活動」の推進

	高校生体験活動総合推進事業【高校教育指導課】	8,414 (再掲)
--	------------------------	------------

### (2) 豊かな心をはぐくむ教育の推進

	自立心をはぐくみ絆を深める道徳教育推進事業 【生徒指導課】	17,259
--	----------------------------------	--------

### (3) いじめ・不登校・高校中途退学の防止

	新規 小中一貫教育推進事業【義務教育指導課】	8,453 (再掲)
P 11	いじめ・不登校対策相談事業【生徒指導課】	351,527
	学校教育に係る市町村総合助成事業 (いじめ不登校対策充実事業) 【生徒指導課】	288,297
	自分発見!高校生感動体験プログラム事業【生徒指導課】	9,928
P 12	新規 定時制高校生自立支援プログラム事業【生徒指導課】	7,739
	新規 有害情報等から子どもを守るための学校支援推進事業 【生徒指導課】	11,274
	子ども学校生活支援モデル事業【生徒指導課】	127,150

### (4) 人権を尊重した教育の推進

	人権感覚育成事業【人権教育課】	1,097
--	-----------------	-------

### (5) 体力の向上と学校体育活動の推進

	運動部活動充実事業【保健体育課】	11,309
	「健やかな体の育成」・埼玉の子ども体力向上支援事業 【保健体育課】	3,245

## 3 質の高い学校教育の推進

### (1) 教職員の資質向上

	小中学校等教育課程研究事業【義務教育指導課】	2,240
	埼玉ティーチャーズカレッジ連携事業【小中学校人事課】	12,531

**(2) 県立高校の再編整備と学校の組織運営の改善**

P 1 3	県立高校再編整備計画推進事業【高校改革推進課】	1,602,440
	学校経営改革推進事業【県立学校人事課】	2,221

**(3) 子どもたちの安心・安全の確保**

P 1 4	新規 高校生交通事故防止推進事業【保健体育課】	1,444
	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業【保健体育課】	2,184

**(4) 学習環境の整備・充実**

P 1 5	新規 県立学校食堂兼合宿所耐震化事業【財務課】	36,374
P 1 6	新規 県立学校非構造部材耐震対策事業【財務課】	85,000
	新規 県立学校等みどり生き生き事業【財務課】	28,496
	県立学校大規模改修費【財務課】	3,147,161
	県立学校体育館整備費【財務課】	606,662
P 1 7	埼玉県高等学校等奨学金事業【財務課】	804,983

**4 家庭・地域の教育力の向上**

**(1) 「学校応援団」の推進**

P 1 8	学校応援団推進事業【家庭地域連携課】	17,173
-------	--------------------	--------

**(2) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進**

P 1 9	放課後子ども教室推進事業【家庭地域連携課】	129,080
-------	-----------------------	---------

**(3) 家庭教育支援体制の充実**

家庭教育支援推進事業【家庭地域連携課】	7,081 (再掲)
幼少期教育充実事業【家庭地域連携課】	3,512 (再掲)

**5 生涯学習とスポーツの振興**

**(1) 生涯を通じた多様な学習活動の振興**

P 2 0	元気な地域を創造する子ども大学推進事業 【生涯学習文化財課】	6,150
-------	-----------------------------------	-------

**(2) 文化芸術の創造と伝統文化の継承**

民俗芸能公開事業【生涯学習文化財課】	2,112
--------------------	-------

**(3) 地域スポーツの振興**

P 2 1	埼玉サイクリングフェスティバル事業【スポーツ振興課】	17,636
	埼玉県スポーツ振興のまちづくり推進事業費 【スポーツ振興課】	39,350
	スポーツで埼玉を元気に！事業【スポーツ振興課】	36,498

**III 教職員の定数**

P 2 2

区 分	平成24年度	平成23年度	増 減
条例定数	47,086人	46,960人	126人

# 教育に関する3つの達成目標総合推進事業

担当 義務教育指導課 3つの達成目標担当  
内線 6748

## 1 趣 旨

全ての公立小・中学校において実施されている「教育に関する3つの達成目標」の取組を一層推進するため、学校の取組への支援や効果の検証を行う。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
教育に関する3つの達成目標推進事業	(1) 学校の取組への支援 効果的な推進方法を検討し、学校の取組を支援する。  ア 地区別3つの達成目標推進連絡協議会の開催  イ 効果の検証結果分析報告書の作成・配布 「教育に関する3つの達成目標」に係る効果の検証結果を分析し、その結果を報告書にまとめ配布する。  ウ 新1年生用リーフレットの作成・配布 小学校第1学年、中学校第1学年対象  (2) 効果の検証 達成目標の取組に係る効果を検証する。  ア 調査項目 「学力」達成目標：ペーパーテスト調査、質問紙調査 「規律ある態度」達成目標：質問紙調査 「体力」達成目標：新体力テスト、質問紙調査  イ 対象 小学校第1学年から中学校第3学年までの全ての児童生徒

3 平成24年度予算額 7,957千円

## 小中一貫教育推進事業

担当 義務教育指導課 教育指導担当  
内線 6779

### 1 趣 旨

中学生になると不登校やいじめが増加するいわゆる「中1ギャップ」や学習意欲の低下への課題に対応するために、小・中学校9年間の連続性を重視した教育を推進する。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
小中一貫教育推進事業	<p>(1) 小中一貫教育推進モデル事業の実施 どの市町村でも実践できる小中一貫教育の標準モデルを構築するため、モデル地区において、課題の洗い出しと対応策の整理を行う。</p> <p>ア モデル地区 県内8地区</p> <p>イ 取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す児童生徒像、重点目標の共有</li> <li>・9年間を見通したカリキュラム編成</li> <li>・教員の合同研修の実施</li> <li>・児童生徒の交流（合同授業、行事等）の実施等</li> </ul> <p>(2) 小中一貫教育推進会議の開催 モデル地区における取組を支援するため、推進モデル事業の実施等に関する協議を行う推進会議を開催する。</p> <p>ア 委 員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル地区の各学校代表</li> <li>・モデル地区の教育委員会指導主事</li> </ul>

### 3 平成24年度予算額

8,453千円

# 学習状況調査実施事業

担当 義務教育指導課 学力向上推進担当  
内線 6748

## 1 趣 旨

本県児童生徒の各教科における学習の課題を把握するとともに、学習に対する興味・関心などの状況を調べ、学習指導の改善を図ることにより、確かな学力を育成する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
学習状況調査実施事業	(1) 平成24年度学習状況調査の実施 ア 調査問題 県独自で作成した調査問題 イ 調査内容 ・各教科のペーパーテスト調査 ・学習に対する意識等を調べる質問紙調査 ウ 対象学年・教科 ・小学校第5学年：国語、社会、算数、理科 ・中学校第2学年：国語、社会、数学、理科、英語 エ 調査対象者 対象学年の全児童生徒 オ 実施時期 平成24年4月下旬  (2) 学習状況調査の分析・報告 ア 市町村、学校ごとに設問別・内容別・評価の観点別に集計 イ 調査結果の公表 ウ 報告書の作成  (3) 平成25年度学習状況調査問題の作成 ア 問題作成委員会の設置 イ 対象学年・教科等 ・小学校第5学年：国語、社会、算数、理科、 児童質問紙調査 ・中学校第2学年：国語、社会、数学、理科、英語 生徒質問紙調査

## 3 平成24年度予算額

35,522千円

## 未来を拓く「学び」推進事業

担当 高校教育指導課 教育指導担当  
内線 7391

### 1 趣 旨

知識集約型産業社会を見据えた人材育成のため、大学や企業との連携を通じて、未来を担う高校生の主体的な「学び」を創造する授業改善を推進し、生徒のコミュニケーション能力・問題解決力・ICT活用力などを育成する。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
未来を拓く「学び」推進事業	<p>(1) 大学等との連携による授業改善 指定校において、大学教授等と共同したモデル授業を実施し、新たな授業方法の研究と教材開発を行い、実践する。 ・指定校 県立高校15校</p> <p>(2) 企業等との連携によるICTの活用 企業等から教育プログラムの提供を受け、ICTを活用した授業案を作成し、実践する。</p>

3 平成24年度予算額 3,585千円

# 世界を目指す「志」育成事業

担当 高校教育指導課 教育指導担当

内線 7392

## 1 趣 旨

若者の内向き化、安全志向の風潮がある中、世界にチャレンジしようとする若者が減少しているため、日本の殻に閉じこもらない世界を視野に入れた高い「志」を育成する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
世界を目指す「志」育成事業	<p>(1) 埼玉版 白熱教室 著名人による世界的な視野を広げるための講演と討論を実施するなど、世界に通用する思考に触れさせる。</p> <p>(2) 高校生の海外派遣 学校単位で、海外における大学の講義へ参加し、国際的な視野をはぐくむ。また、県立高校生40名をハーバード大学やマサチューセッツ工科大学に短期間派遣し、世界を目指す「志」を育成する。</p> <p>(3) 教員の海外派遣 語学教育や科学教育の先進国である韓国やシンガポールに教員5名を派遣し、世界トップレベルの学力を維持するカリキュラム、教科の指導方法、学習教材の作成方法、授業力向上のための研修方法を学ぶ。</p> <p>(4) 英語力の指導改善事業 拠点校2校において、英語力を強化する指導改善の取組を実施する。</p>

## 3 平成24年度予算額

32,452千円

# 就職指導・キャリア教育支援事業

担当 高校教育指導課 体験活動・キャリア教育推進担当  
内線 6772

## 1 趣 旨

厳しい経済情勢の中、産業界等と連携した就職指導、キャリア教育を実施することにより、高校生の望ましい勤労観・職業観を育成し、キャリア発達を促すとともに、就職内定率の向上を図る。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
就職指導・キャリア教育支援事業	(1) 地域就職支援コーディネーターの配置 学校と地域の企業等との連携を強化するために、地域就職支援コーディネーターが企業訪問や高校への情報提供等を行う。  (2) 外部機関を活用したキャリア教育の実施 指定校において、生徒のコミュニケーション能力育成と進路意識醸成を図るために、外部機関を活用したキャリア教育を実施する。 ・指定校 県立高校4校  (3) 就職支援四者面談会の実施 高校の早い段階から生徒の望ましい勤労観・職業観の育成を図るため、企業経営者と生徒、保護者、教員による四者面談会を実施する。

3 平成24年度予算額 20,280千円

# 家庭教育支援推進事業

担当 家庭地域連携課 幼児教育・家庭教育支援担当  
内線 6972

## 1 趣 旨

家庭の教育力の向上を図るため、「埼玉県家庭教育アドバイザー」を養成し、市町村などへ派遣することにより、家庭教育支援の取組を推進する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
家庭教育支援推進事業	(1) 「埼玉県家庭教育アドバイザー」の養成 「埼玉県家庭教育アドバイザー」養成研修の実施 ・新規養成研修 60人 ・既存指導者のフォローアップ研修 950人  (2) 「埼玉県家庭教育アドバイザー」の派遣 市町村などへ指導者を派遣し、「親の学習」や子育て講座等を実施 ・年400回実施  (3) 「親の学習」プログラム集の改訂 現代のニーズに対応したプログラム内容を新たに追加

3 平成24年度予算額 7,081千円

# 特別支援教育体制整備事業

担当 特別支援教育課 発達障害支援担当  
内線 6884

## 1 趣 旨

小中学校や高校等の通常の学級に在籍している、発達障害などの特別な教育的支援を必要とする児童生徒などに対する支援体制を整備する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
特別支援教育体制整備事業	<p>(1) 小中学校における支援体制の研究 特別支援学級担任の専門性を活かして、小中学校の通常の学級に在籍する発達障害などのある児童生徒を支援する仕組みを5市において研究し、全県に普及拡大する。</p> <p>(2) 高校における支援の在り方の研究 発達障害などのある生徒に対する相談支援の在り方を4校において研究し、全県に普及拡大する。</p> <p>(3) 特別支援学校センター的機能の充実 発達支援専門員2名を配置し、特別支援学校による小中学校・高校等への巡回支援体制を充実させるとともに、特別支援学校教員の専門性の更なる向上を図る。</p> <p>(4) 特別支援教育体制の基盤整備 教員の指導力向上を図る研修会や講習会を実施するとともに、臨床心理士等の専門家による学校への巡回支援を実施するなど、全県の特別支援教育体制の基盤整備を図る。</p> <p>(5) 高校における介助等が必要な生徒への支援に関する研究 障害者の介助に関する専門的な知識・技能を有する外部人材を活用し、支援の在り方に関する研究を行う。</p>

## 3 平成24年度予算額

23,024千円

# 県立特別支援学校教室不足対策事業

担当 特別支援教育課 特別支援学校改革担当  
内線 6883

## 1 趣 旨

新たな特別支援学校を設置することにより、知的障害特別支援学校を中心とする教室不足の解消を図る。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
県立特別支援学校教室不足対策事業	県東部地域特別支援学校（仮称）の設置（改修工事等）  県東部地域における知的障害特別支援学校の教室不足を解消するため、移転し使用されなくなった小学校校舎を改修し、新たな知的障害特別支援学校を設置する。 平成24年度は、校舎の改修工事等を実施する。 ア 設置場所：草加市立松原小学校（草加市松原）跡地 イ 設置学部（学科）：小学部・中学部・高等部（普通科） ウ 設置規模：40教室程度 エ 開校年月：平成25年4月（予定）

3 平成24年度予算額 3,231,969千円

# 特別支援学校就労支援総合推進事業

担当 特別支援教育課 教育指導担当  
内線 6884

## 1 趣 旨

障害のある生徒の社会参加と自立を実現するため、特別支援学校高等部生徒の就労支援を総合的に推進する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
特別支援学校 就労支援総合 推進事業	<p>(1) 企業のニーズを踏まえた職業教育の推進 就労状況の変化に対応し、企業のニーズを踏まえた職業教育を推進する。</p> <p>ア 3D（3日間）意識向上民間研修の実施 イ 就職支援アドバイザーの配置 ウ 卒業生による講演会の開催 エ 進路指導の手引き作成</p> <p>(2) 関係機関や学校間の連携による就労支援の実施 就労支援に関わる関係機関、学校の担当者による連携会議を開催して、効果的な就労支援を進める。</p> <p>ア 就労・進路指導連絡会の開催 イ 進路指導主事連携協議会の開催</p> <p>(3) 就労可能な企業の情報の収集 関係機関との連携により、生徒の実習及び就労可能な企業の情報を収集する。 ハローワーク等との共同職場開拓</p> <p>(4) 企業に向けての理解啓発 企業向けの学校公開を実施し、企業の理解啓発を図る。</p>

3 平成24年度予算額 6,446千円

# いじめ・不登校対策相談事業

担当 生徒指導課 総務・登校支援・心の教育担当  
内線 6906

## 1 趣 旨

深刻ないじめや不登校に対応するため、臨床心理士の資格を有するスクールカウンセラーを全ての中学校と一部の高等学校に配置する。

また、教育と福祉等の知識や経験のあるスクールソーシャルワーカーを配置し、課題への対応を図る。

中学校の相談室や市町村の教育支援センター（適応指導教室）などにスチューデントサポーターを派遣し、不登校児童生徒を支援する。

総合教育センターに、精神科医を配置し、医学的支援の必要性について判断するなど、教育相談体制の充実を図る。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
いじめ・不登校対策相談事業	(1) スクールカウンセラーの配置 ア 中学校 364校（さいたま市を除く公立全校配置） イ 高等学校 25校 ウ 教育事務所、総合教育センター 6所 (2) スクールソーシャルワーカーの配置 市町村教育支援センター等 36人 (3) スチューデントサポーター（大学生・大学院生）の派遣 中学校等 160人 (4) 精神科医師の配置 総合教育センター 1人 (5) 高校相談員の配置 高等学校 7校 10人 (6) 相談員研修事業

3 平成24年度予算額 351,527千円

## 定時制高校生自立支援プログラム事業

担当 生徒指導課 非行・中退防止担当  
内線 6744

### 1 趣 旨

公立高校全体の中途退学者数は減少傾向にあるものの、定時制高校における中途退学者は、増加傾向にある。また、定時制高校には様々な課題を抱えた生徒が在籍している状況がある。

そのため、福祉や教育の現場で豊富な経験を積んだ方々やNPO、更には地域の方々と学校が連携し生徒に自立する力を身に付けさせ、高校生の中途退学を防止する。

### 2 事業内容

事業名	事業内容
定時制高校生自立支援プログラム事業	(1) 外部人材をサポーターとした自立支援（モデル校2校） ア 地元企業や商店と連携した自立のための体験学習 イ NPOと連携した自立のための講座 など  (2) 生徒を学校へ導くための環境整備 ア スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーをモデル校に配置 イ モデル校以外の定時制高校にも派遣できる体制を整備  (3) 高校生自立支援に係る検討会議の設置 大学教授等の専門家による指導・助言

3 平成24年度予算額 7,739千円

# 県立高校再編整備計画推進事業

担当 高校改革推進課 総務・改革管理担当  
内線 6902

## 1 趣 旨

県立高校の再編整備計画に基づき、新たに設置する高校等について、教育活動に必要な施設・設備の整備を行う。

## 2 事業内容

(1) 後期再編整備計画により平成25年度に開校する高校の整備のため、以下の改修等を行う。

新校名	対象校	主な内容
幸手新校(仮称)	幸手商業高校 幸手高校	普通教室棟内部改修工事 教材教具等の整備
大井新校(仮称)	大井高校 大福岡高校	普通教室棟内部改修工事 体育実習棟新築工事 教材教具等の整備
豊岡高校	豊岡高校 豊入間高校	校舎(1号館)内部改修工事 教材教具等の整備
本庄高校	本庄高校 本庄北高校	普通教室棟内部改修工事 図書室棟新築工事 教材教具等の整備
吉川新校(仮称)	吉川高校 草加高校(定)	普通教室棟内部改修工事 食堂棟内部改修工事 教材教具等の整備

(2) 後期再編整備計画により平成24年度末で閉校となる玉川工業高校の実習用機器について、他の工業高校への移設を行う。

3 平成24年度予算額 1,602,440千円

# 高校生交通事故防止推進事業

担当 保健体育課 健康教育担当

内線 6963

## 1 趣 旨

高校生の自転車交通事故の防止を推進するため、自転車運転に関するマナーアップのための講習会を実施することにより、交通安全意識の向上を図る。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
高校生交通事故防止推進事業	高校生の自転車マナーアップ伝達講習会の実施 ア 各県立学校の代表生徒を対象に、映像を使用した講習会を実施（県内4地区） イ 講習会に参加した生徒自らが、各学校において自校の生徒全員に対し伝達 ウ 生徒全員による安全宣言を行い、学校全体で交通安全の取組を推進

3 平成24年度予算額 1,444千円

## 県立学校食堂兼合宿所耐震化事業

担当 財務課 施設整備担当  
内線 6645

## 1 趣 旨

災害時に地域の中核的な避難施設となる防災拠点校の食堂兼合宿所について、耐震化を実施することにより、生徒や避難者の安全の確保を図る。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
県立学校食堂兼合宿所耐震化事業	防災拠点校38校のうち、旧耐震基準により建設された食堂兼合宿所(7校7棟)の耐震化を実施する。  ・平成24年度実施内容 耐震診断及び耐震補強設計

3 平成24年度予算額 36,374千円

## 県立学校非構造部材耐震対策事業

担当 財務課 施設整備担当  
内線 6645

## 1 趣 旨

災害時に地域の中核的な避難施設となる防災拠点校の体育館について、非構造部材の耐震対策を実施することにより、生徒や避難者の安全の確保を図る。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
県立学校非構造部材耐震対策事業	防災拠点校の体育館（38校39棟）の天井材落下防止ネット設置工事を実施する。  ・平成24年度実施対象 16校17棟

3 平成24年度予算額 85,000千円

# 埼玉県高等学校等奨学金事業

担当 財務課 授業料・奨学金担当  
内線 6652

## 1 趣 旨

経済的理由により修学が困難な高校生等に対して奨学金を貸与することにより、修学を支援するとともに、有為な人材の育成に資する。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
埼玉県高等学校等奨学金事業	(1) 奨学金制度の概要 ア 奨学金貸与の対象者 修学意欲があり、かつ、経済的理由により修学が困難な生徒 イ 貸与額 ・ 国公立 入学一時金 100,000円以内 月額奨学金 25,000円以内 ・ 私立 入学一時金 250,000円以内 月額奨学金 40,000円以内  (2) 貸与枠 ア 平成24年度在校生向け ・ 国公立 2,850人 ・ 私立 2,850人 計 5,700人 イ 平成25年度入学生向け ・ 国公立 900人 ・ 私立 900人 計 1,800人

3 平成24年度予算額 804,983千円

# 学校応援団推進事業

担当 家庭地域連携課 総務・企画・連携推進担当  
内線 6976

## 1 趣 旨

学校の教育活動の活性化と家庭・地域の教育力の向上を図るため、地域住民・保護者がボランティアとして学校の教育活動を支援する「学校応援団」の組織化を推進し、学校・家庭・地域が一体となった子どもの育成を図る。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
学校応援団 推進事業	(1) 小中学校における学校応援団づくりの支援 事業実施市町村への補助金の交付、会議等による情報提供  (2) 推進委員会の設置 「学校応援団」の組織化及び活動の活性化に向けた普及・ 啓発策の検討を行う推進委員会を設置

3 平成24年度予算額 17,173千円

# 放課後子ども教室推進事業

担当 家庭地域連携課 総務・企画・連携推進担当  
内線 6977

## 1 趣 旨

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、子どもたちの安全・安心な活動拠点を確保する。

市町村が放課後や週末などに、小学校の余裕教室等を活用した子どもの活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取り組むための支援を行う。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
放課後子ども教室推進事業	(1) 市町村が実施する「放課後子ども教室」への支援 市町村への補助金の交付、会議等による情報提供 ・41市町実施  (2) 推進委員会の設置 実施方針の検討、指導者研修の企画等を行う推進委員会を設置  (3) 指導者研修の実施 コーディネーターや安全管理員等の資質向上や情報交換・情報共有を図るための研修を実施 ・年4回実施

3 平成24年度予算額 129,080千円

# 元気な地域を創造する子ども大学推進事業

担当 生涯学習文化財課 生涯学習推進担当

内線 6920

## 1 趣 旨

子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験を提供することにより、子どもの学ぶ力や生きる力をはぐくむ。

また、大学やNPO、企業、市町村などが連携して、地域で地域の子どもの育てる仕組みづくりを目指す。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
元気な地域を創造する子ども大学推進事業	<p>(1) 各子ども大学実行委員会で実施</p> <p>ア 開校事業 大学のキャンパス等で、大学教授や地域の専門家が子どもの知的好奇心を刺激する講義などを行う。 ア) 対象 小学校4～6年生（1校50～100人） イ) 会場 東・西・南・北各地区で計18校を開校予定 ウ) 内容 「はてな学」、「ふるさと学」、「生き方学」</p> <p>イ 学び成果活用事業 地域の祭りや大学祭などで、講義で学んだ成果の発表やミニ社会体験活動などを行う学園祭を実施する。 ア) 対象 小学生 イ) 会場 子ども大学を開校している市町村の施設 18か所</p> <p>(2) 子ども大学全体で実施</p> <p>ア 発表・交流事業 子ども大学の学生が1会場に集まり、学んだ成果を発表し合い、互いの交流を深める。 ア) 対象 子ども大学の学生及び大学、団体、市町村関係者など イ) 会場 大宮ソニックシティ（予定） ウ) 内容 ブース展示、埼玉検定、トークセッション、体験活動等</p>

## 3 平成24年度予算額

6,150千円

# 埼玉サイクリングフェスティバル事業

担当 スポーツ振興課 総務・企画担当  
内線 6945

## 1 趣 旨

本県の自転車利用ムーブメントを拡大するため、自転車や本県の魅力を再認識していただき、気運の醸成を図ることを目的にサイクリングフェスティバルを開催する。

また、自転車の安全な利用を呼び掛けるため、安全教育イベント等も併せて行う。

## 2 事業内容

事業名	事業内容
埼玉サイクリングフェスティバル事業	(1) 開催時期 平成24年10月  (2) 主催 埼玉サイクリングフェスティバル実行委員会  (3) 場所 熊谷スポーツ文化公園周辺、利根川自転車道及び一般道  (4) コース 熊谷スポーツ文化公園をスタート及びゴールとし、利根川自転車道を利用した70km程度のコースを設定する。 また、参加者が経験や体力に応じて選択できるよう、距離を短縮した20km程度のコースもあわせて設定する。  (5) 予定参加者 1,000人

3 平成24年度予算額 17,636千円

## 教育局 条例 定数 一 覧

(単位:人)

区 分	平成24年度	平成23年度	増 減	主な増減理由
事 務 局	741	743	△ 2	事務事業の執行体制の見直しに伴う減
小 学 校	20,489	20,552	△ 63	児童数の変動に伴う減
中 学 校	12,081	12,022	59	生徒数の変動に伴う増
高 等 学 校	9,788	9,812	△ 24	再編整備に伴う減
特 別 支 援 学 校	3,987	3,831	156	児童生徒数の変動に伴う増
計	47,086	46,960	126	